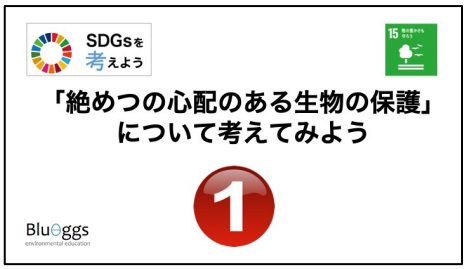
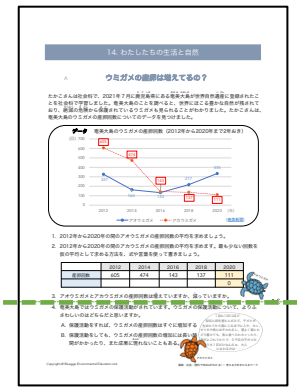
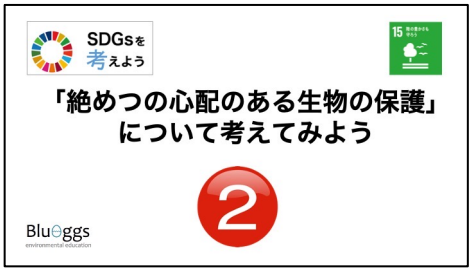
展開案

過程	主な学習活動・内容	指導上の留意点 〇観点別評価
第1時	【めあて】絶滅の心配のある生物の保護について考える	
【導入】 10m	T：SDGsの１３番目の目標「陸の豊かさも守ろう」では絶滅が心配されている生物を保護して、絶滅を防ぐために緊急に対策を取ろうと言っています。 Q１）みんなは絶滅しそうな生物のことを知っていますか？国内にも絶滅が心配されている生物（動物と植物）がいると思いますか？いるとしたらどれくらいいると思いますか？ Q２） 世界と比べて日本には生物の種類が多いと思いますか。それはどうしてですか。 Q3）どういう理由で絶滅しそうになっているのだと思いますか。 今日はSDGsの目標にある絶滅の心配のある生き物の保護について考えてみたいと思います。	
	■３つの質問を考えながら、学習の見通しを持つ	動画後に学習したことを書き込むため、余白をあけながら、児童の意見を簡単に板書する
【展開】 30m	■動画パート１を見て、日本の国土と生物種の関係や生物が絶滅に追い込まれている原因について学習する	 （5分03秒）
	■動画で学習したことの3つの要点を整理する	最初の意見と比較するため、赤で板書する
	T： Q１）国内の絶滅の心配がある生物にどんな生物がいましたか？国内に絶滅が心配されている生物は何種いましたか。 Q２） 日本は生物の種類が豊かということでしたが、理由はなんでしたか。 Q3）何が原因で絶滅しそうなのですか。	

過程	主な学習活動・内容	指導上の留意点 ○観点別評価
	T：こういった絶滅の心配がある生物を守ろうと、世界でも日本でも希少な野生動植物の保護活動を行なっています。ウミガメも絶滅しそうになっている動物の一つです。ウミガメは卵を産みに日本の砂浜に上がってくるのですが、産み落とされる卵の数が減っているのが問題になっていて保護活動が行われています。保護活動によってウミガメの卵の数はどう変化しているのか、順調に増えているのか、またはそうではないのか、奄美大島でのアオウミガメとアカウミガメの２種類のウミガメについて実際のデータを使って見てみたいと思います。	
	■「ウミガメの産卵は増えてるの？」(P.38)のプリントの問題1を解く	 切り取る 印刷用PDF
【まとめ】 5m	T：この時間では、日本の国土の特色のおかげで生物種が豊かであること、でも絶滅しそうになっている種が3700種もいて、そういった生物を守るために、保護活動が行われていることを学習しました。次の時間は、 残りの問題を解いて、保護活動についてより詳しくみていきたいと思います。	

過程	主な学習活動・内容	指導上の留意点 〇観点別評価
第2時 35m	【めあて】絶滅の心配のある生物の保護について考える	
	■「ウミガメの産卵は増えてるの？」(P.38)のプリントの問題２～３を解く	
	■問題4を解く	切り離した問題４を配る
	（問４）Aだと思う人、Bだと思う人？	
	T：保護活動をしても、ウミガメの産卵回数の増加には長い時間がかかったり、また成果に現れないこともある、このことについてどう思いますか？	
	■希少な野生動植物について私たちができることについて意見交換する	〇クラスで話し合うことによって、自分なりの考えを持てるようにする (主)
	T：こういった絶滅の心配のある生物雨や希少な野生の動植物に対して、私たちができることにどんなことがあると思いますか？	
	■動画のパート2を見て、国の取り組みや、わたしたちにできることの一例を学習する	 （3分21秒）
【まとめ】 10m	■絶滅の心配のある生物の保護について考えたことを各自ノートに書く	時間がある場合 • 発表する 時間がない場合 • 「〇〇君が気付いた・・・のこと、、、」や、「〇〇さんの発言の・・・のこと、、、、」のように、名前をあげて教師が紹介する